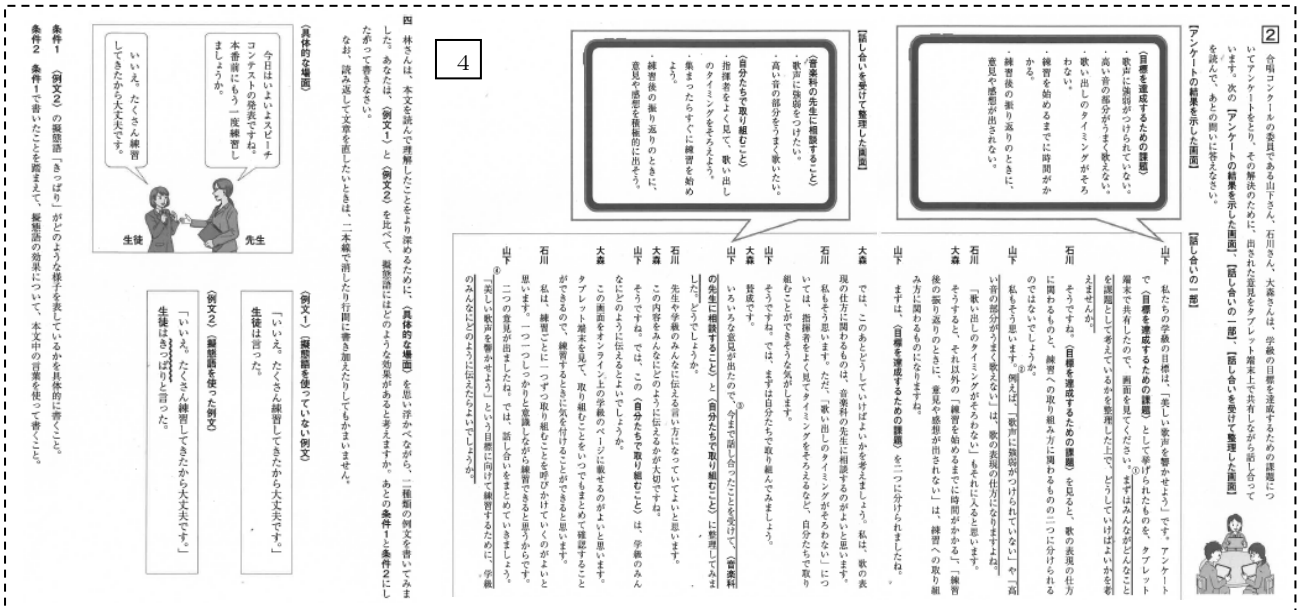
令和８年４月 23 日実施　全国学力・学習状況調査 【中学校　国語】 松山市の調査結果の概要

１ 国語について

全国と松山市の調査結果を比較すると、平均正答率はほぼ同じ状況でした。

学習指導要領に示されている「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」の領域は共に全国平均とほぼ同じ状況でした。

２ 分析結果から特徴が見られた問題



2

今場コンクールの委員である山下さん、石川さん、大森さんは、学級の目標を達成するための課題についてアンケートをとり、その解決のために、出された意見をタブレット端末上で共有しながら話し合っています。次の【アンケートの結果を示した画面】、【話し合いの一部】、【話し合いを受けて整理した画面】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【アンケートの結果を示した画面】

（目標を達成するための課題）
・歌声に強弱がつけられていない。
・高い音の部分がうまく歌えない。
・歌い出しのタイミングがそろわない。
・練習を始めるまでに時間がかかる。
・練習後の振り返りのときに、意見や感想が出されない。

【話し合いの一部】

山下　私たちの学級の目標は、「美しい歌声を響かせよう」です。アンケートで、（目標を達成するための課題）として挙げられたものを、タブレット端末で共有したので、画面を見てください。まずはみんながどんなことを課題として考えているか整理した上で、どうしていけばよいかを考えませんか。

石川　そうですね。（目標を達成するための課題）を見ると、歌の表現の仕方に関わるものと、練習への取り組み方に関わるものの二つに分けられるのではないでしょうか。

山下　私もそう思います。例えば、「歌声に強弱がつけられていない」や「高い音の部分がうまく歌えない」は、歌の表現の仕方になりますね。

大森　「歌い出しのタイミングがそろわない」もそれに入ると思います。

石川　そうすると、それ以外の「練習を始めるまでに時間がかかる」、「練習後の振り返りのときに、意見や感想が出されない」は、練習への取り組み方に関わるものになりますね。

山下　まずは、（目標を達成するための課題）を二つに分けられましたね。

大森　では、このあとどうしていけばよいかを考えましょう。私は、歌の表現の仕方に関わるものは、音楽科の先生に相談するのがよいと思います。

石川　私もそう思います。ただ、「歌い出しのタイミングがそろわない」については、指揮者をよく見てタイミングをそろえるなど、自分たちで取り組むことができそうな気がします。

山下　そうですね。では、まずは自分たちで取り組んでみましょう。

大森　賛成です。

山下　いろいろな意見が出たので、③ここまで話し合ったことを受けて、（音楽科の先生に相談すること）と（自分たちで取り組むこと）に整理してみましょう。どうでしょうか。

石川　先生や学級のみんなに伝える言い方になっていてよいと思います。

大森　この内容をみんなにどのように伝えるかが大切ですね。

山下　そうですね。では、この（自分たちで取り組むこと）は、学級のみんなにどのように伝えるとよいでしょうか。

大森　この画面をオンライン上の学級のページに載せるのがよいと思います。タブレット端末を見て、取り組むことを一つでもまとめて確認することができるので、練習するときに気を付けることができると思います。

石川　私は、練習ごとに一つずつ取り組むことを呼びかけていくのがよいと思います。一つ一つしっかりと意識しながら練習できると思うからです。

山下　二つの意見が出ましたね。では、話し合いをまとめていきましょう。④「美しい歌声を響かせよう」という目標に向けて練習するために、学級のみんなにどのように伝えたらよいでしょうか。

【話し合いを受けて整理した画面】

（音楽科の先生に相談すること）
・歌声に強弱をつけたい。
・高い音の部分をうまく歌いたい。

（自分たちで取り組むこと）
・指揮者をよく見て、歌い出しのタイミングをそろえよう。
・集まったらすぐに練習を始めよう。
・練習後の振り返りのときに、意見や感想を積極的に出そう。

四　林さんは、本文を読んで理解したことをより深めるために、【具体的な場面】を思い浮かべながら、二種類の例文を書いてみました。あなたは、【例文１】と【例文２】を比べて、擬態語にはどのような効果があると考えますか。あとの条件１と条件２にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

【具体的な場面】

【例文１】（擬態語を使っていない例文）

「いいえ。たくさん練習してきたから大丈夫です。」

生徒は言った。

【例文２】（擬態語を使った例文）

「いいえ。たくさん練習してきたから大丈夫です。」

生徒はきっぱりと言った。

条件１　【例文２】の擬態語「きっぱり」がどのような様子を表しているかを具体的に書くこと。

条件２　条件１で書いたことを踏まえて、擬態語の効果について、本文中の言葉を使って書くこと。

2－四

正答例

石川さんが言うように、練習ごとに一つ一つ呼びかけるのがよいと思います。学級のページに載せればいつでもまとめて確認できますが、一つずつ練習の場で伝えた方が、全員が同じ意識で歌えるからです。

全国の正答率　52.7%　　松山市の正答率　「全国の正答率とほぼ同じ」

4－四

正答例

「きっぱり」は、生徒が先生に向かって、自信を持って力強く言い切っている様子を表している。このように、擬態語は話している様子の包括的なイメージを表現することができる。

全国の正答率　38.9%　　松山市の正答率　「全国の正答率を大きく下回る」

３ 考察

2－四は、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができるかどうかをみる問題です。本市の正答率は全国と同じく約 50%であり、自分の考えと理由を述べることにとどまり、話合いの展開に応じて、互いの立場や考え方を結び付けたり、話し合った内容を踏まえて述べたりすることができていない生徒が多くいたと考えられます。

4－四は、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることができるかどうかをみる問題です。本市の正答率は全国を大きく下回っていることから、本文の内容を基に擬音語・擬態語について理解することができていない生徒や、本文の内容を踏まえず、擬音語・擬態語についての知識や経験等に基づいて解答した生徒が多くいたと考えられます。

４ これからの学習にあたって

文章を読んで自分の考えを確かなものにするためには、具体的な場面を思い浮かべ、文章の構造や内容を把握したり、他者と考えを比べたりする学習を通して、改めて自分が文章をどのように捉えて精査・解釈したのかを振り返ることなどが考えられます。

その際、文章に書かれている大まかな内容について自分の考えを述べることにとどまるのではなく、自分がその文章の内容についてどのように把握したり解釈したりしたかを十分に踏まえ、それを常に確かめながら考えを形成していくことが大切です。

四　【話し合いの一部】で山下さんは、――線部④「『美しい歌声を響かせよう』という目標に向けて練習するために、学級のみんなにどのように伝えたらよいでしょうか」と投げかけています。これを受けて、あなたならどのような意見を述べますか。次の条件１と条件２にしたがって、この場の三人に実際に話すように書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件１　学級のみんなにどのように伝えたらよいかについて、自分の考えと理由を書くこと。

条件２　条件１について、大森さんと石川さんの意見の両方を取り上げながら書くこと。